



第 3 回 上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

個別施設のイメージ検討

平成 21 年 9 月 4 日

上 越 市

1.まちづくりビジョン及びまちなみ形成コンセプト(案)

まちづくりビジョン(案)

百年まちづくり ~百年先も愛される 越後百会のまちづくり~

- むかえる：もてなしの空間づくり
- つたえる：地域らしさの活用
- みちびく：地域との連携強化
- つなげる：百年先を見据えたまちづくり



まちなみ形成コンセプト(案):

**自然と人が結ばれて生まれた生活や歴史を
新しいまちなみに織り込み、
次代へと継承すべき“まちなみ”の創造**
コンセプトイメージ

- 自然とまちを結ぶ**...自然環境との調和に配慮し、緑や水辺などを素材として、まちの中で自然を感じることでできる景観をつくる
- 歴史とまちを結ぶ**...歴史資源を取り込み、また時間経過により味わいが創出される、歴史の佇まいを感じることでできる景観をつくる
- 生活とまちを結ぶ**...子ども達からお年寄りまで、誰もが自由に活動できるような、利用する人への優しさを感じることでできる景観をつくる
- 人とまちを結ぶ**...住まう人、訪れる人がまちへ飛び出したくなるような、魅力と開放感を感じることでできる景観をつくる

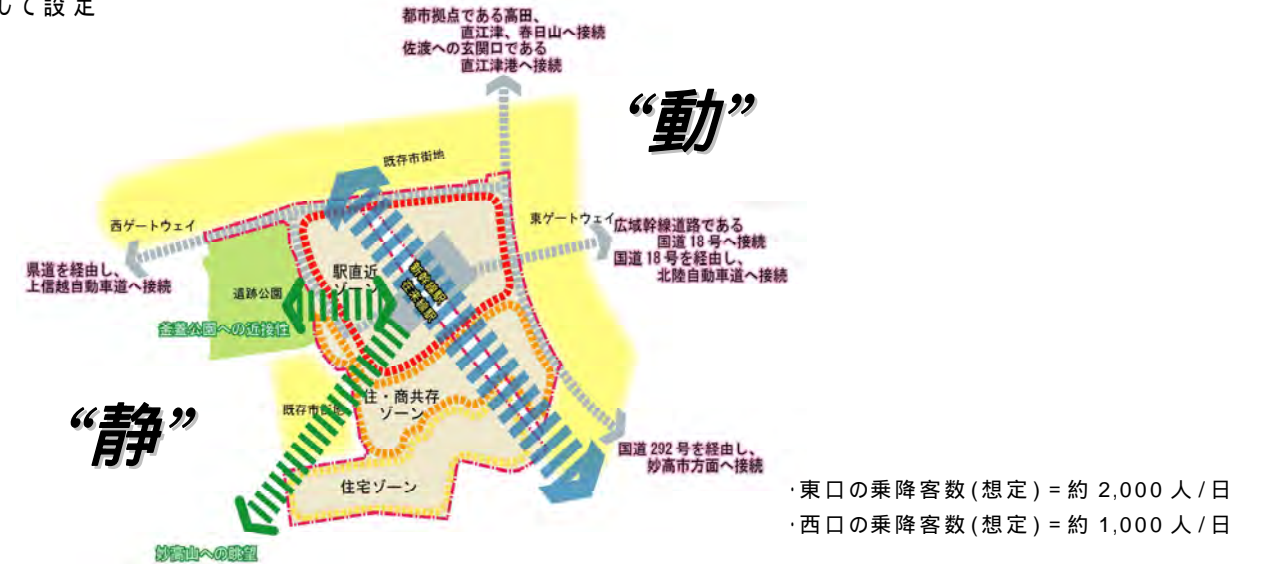
2.まちなみデザインの方向性と方針

まちなみ形成コンセプト(案)におけるコンセプトイメージから導かれるまちなみデザインの方向性と、その方向性に沿ったデザインを実現するための、統一したデザイン方針

まちなみデザインの方向性	デザイン方針(案)
方向性：自然とまちを結ぶ 妙高山などへの眺望を踏まえた施設配置、デザイン 地域環境に配慮した色彩 自然との調和に配慮した積極的な緑化	妙高山等への眺望に配慮した施設配置、高さ、屋外広告物等の誘導 妙高山への眺望を引き立てる視点場・近景のデザイン 環境配慮型素材や自然エネルギーの積極的な採用 上越市の豊かな自然や歴史性に配慮し落ち着いたベースカラーを採用 上越市らしさ・地区特性を表現するイメージカラーの設定 商業施設や住宅外構、公共空間への積極的な緑化 地域の植生を活かした緑豊かな空間の創出
方向性：歴史とまちを結ぶ 歴史性を感じさせる施設デザイン 釜蓋遺跡との連携を踏まえた施設配置、デザイン	上越の歴史性や雁木造りの“助け合い・思いやり”の精神を継承した、公共空間と共用空間の一体的なデザインによるもてなしの空間づくり 弥生時代の生活文化を受け継ぐ物語性のあるデザイン
方向性：生活とまちを結ぶ 地域性を感じさせる材質の採用 人にやさしい施設デザイン	地場材(木材やステンレスなど)の活用による、地域の産業文化を表現した愛着の持てるデザイン ユニバーサルデザイン+ の視点を取り入れた、円滑な移動と快適な利用への配慮 雪の対策・活用 ライフサイクルコストを意識した維持管理に優れる素材・工法の採用
方向性：人とまちを結ぶ 飽きのこない施設デザイン 魅力や開放感を感じさせる施設デザイン	地域に根ざしたデザインや経年変化を考慮した素材の採用 まちなみデザインの方向性 ~ において、地域特性の活用や開放感のある空間づくりを念頭に検討

3.新駅東西の機能分担、及びゾーン・主要軸の景観形成方針

個別施設のデザインに向けて、土地利用や主要な軸に対応した、めざすべきまちなみ景観の在り方を景観形成方針として設定



- 駅周辺にぎわいゾーン**
上越地域の新たな玄関口および地区の顔として、地区の環境と都市機能の調和を図り、緑豊かな広がりのある景観形成
- 西口：自然と歴史の顔づくり**
妙高山などの豊かな自然環境や釜蓋遺跡の歴史、くらし、文化を感じさせる景観形成
- 東口：にぎわいの顔づくり**
上越の歴史や文化を要素としつつ、広域圏の玄関口として相応しい賑わいを感じさせる景観形成



4.東西共通のデザインテーマ

「北陸新幹線(仮称)上越駅の整備に関する要望書」における、駅東西における共通のデザインテーマ

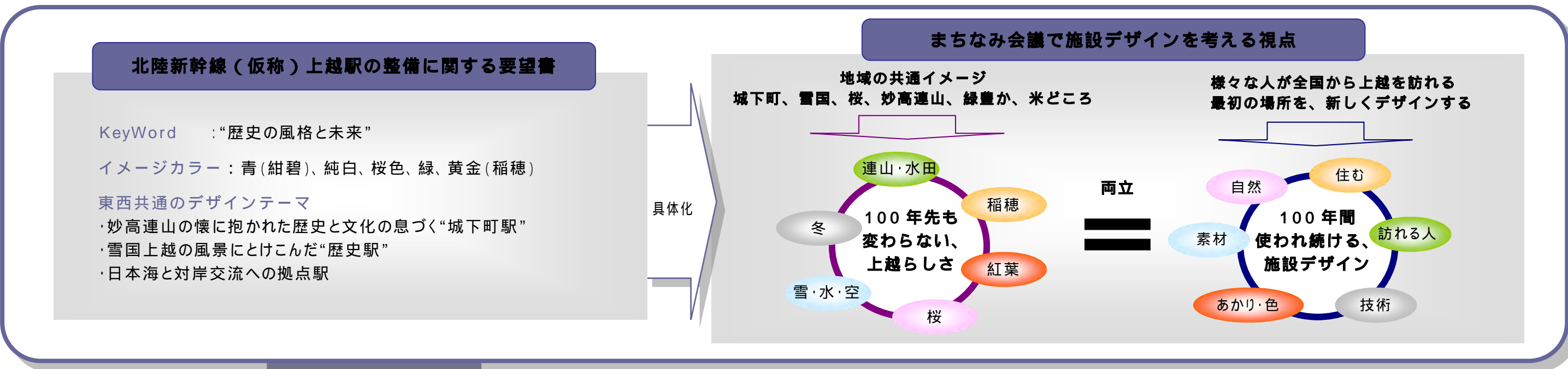
- ・妙高連山の懷に抱かれた、歴史と文化の息づく“城下町駅”
- ・雪国上越の風景にとけこんだ“歴史駅”
- ・日本海と対岸交流への拠点駅
(日本海を中心に位置し、対岸を見据えた、外に向かう上越をイメージした駅)

次ページ

デザインコンセプト(案)へ

駅だけではなく、地域全体のまちなみイメージを表現したものと捉える

4.デザインコンセプト(案)



	方向性	デザインの考え方(デザインコンセプト案)	受ける印象	デザインのポイント	デザインイメージ
A	未来志向 現代的な <雪国>の イメージ	ガラスや金属などのメタリックな素材を使用することで全体の透明感を高め、個別施設の存在感を抑えた駅前空間とする案 山なみなど周辺の景観を主役とし、それらを引き立たせる案 	都市的、都会的 洗練 明るくさわやか クール、シャープ 清潔 機能的 スピード感、躍動感 直線的	青空を仰ぎ見ることができ、遠くの自然を映す、ガラスなどの透明感 金属などのクールでメタリックな素材感 これらと調和し、その特長を引き出す色彩、照明など	「周辺景観」を引き立てる、眺望性が高く明るい空間 雪国のクリアなイメージ 明るくさわやかで洗練された都市的イメージ
B	文化志向 歴史的な <和>の イメージ	雪景色に映える落ち着きや重厚感のある佇まいを空間全体で演出する案 自然景観を受け止め、対峙するような、力強さを感じる空間とする案 	穏やかさ あたたかさ 素朴さ 力強さ、安定感 品格、重厚感 ヒューマンスケール 地域の営み モノトーン	落ち着きや重厚感のある色彩、素材 石や木材など、素材そのものの色や素材感を活かす	落ち着きある城下町の風情（雁木など）を感じる空間 城などの威厳や重厚感のある空間 地域の佇まいを表現する「和」のイメージをベースとする 東西の個性に応じ、地域の風情を意匠に取り込む
C	自然志向 暖かみのある <木>の イメージ	周辺の自然景観と調和する木のイメージを盛り込んだ空間とする案 	安心感 心地よさ 軽やかさ あたたかみ シンプル 穏やかさ 空気感、透明感 四季の豊かさ	木漏れ日を通じて感じる木々の緑、木陰の心地よさ、自然の豊かさなど 自然を邪魔しない、造形物の軽さ、明るさ、シンプルさなど 石や木材など、素材そのものの色や素材感を活かす	現代的なイメージとの調和を考慮した明るいイメージの施設 地域(田園・遺跡)の暖かみを取り込んだ空間 格子を取り入れたデザインをベースとする 東西のそれぞれのイメージを色彩に反映させる

A案 未来志向にかかると事例

秋田新幹線 田沢湖駅

秋田県仙北市

駅舎はガラスを多用したシースルー、内装は木材を使用しており、平成9年グッドデザイン賞受賞

駅前広場は見通しを確保した中に、地元の多様な樹種を配置

駅構内には観光情報センターを設置



東北新幹線 二戸駅

岩手県二戸市

駅舎は周囲の山々に馴染む曲線を基調とし、ガラスを多用した開放感のあるデザイン。駅東西で対称的な形状

展望タワーがシンボル性を強調している。駅前広場は植栽が少なく、舗装も単色でシンプルな仕上がり



上越・長野新幹線 本庄早稲田駅

埼玉県本庄市

駅舎はコンクリートとガラスの質感を活かした現代的なシンプルなデザイン。駅から伸びるガラスの大屋根が駅のシンボル性を強調

駅前広場は全体的に見通しの良い空間となっている。



B案 文化志向にかかると事例

長野新幹線 上田駅

長野県上田市

駅舎は、お城口は蔵のイメージ、温泉口は水色・ピンクのパステル調

お城口側の広場は、六文銭をデザインモチーフとし、城下町のイメージでデザイン

温泉口側の広場は、淡いトーンとステンレス素材でまとめられている



秋田新幹線 角館駅

秋田県仙北市

駅舎は小京都に相応しく武家屋敷風の入母屋式

駅前広場内の施設は、グレーと木を基調とした歴史性を活かしたデザインとなっている。



秋田新幹線 雫石駅

岩手県雫石市

駅舎は宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」をモチーフとしたデザイン

南口駅前広場内の施設は、茶系を基調とし、舗装等は南口駅舎デザインと合わせた流線形のデザインとなっている。



C案 自然志向にかかる事例

長野新幹線 安中榛名駅
群馬県安中市
駅舎は周囲の山並み等と馴染むよう小規模。グレーと水色を基調に、ガラスを利用
駅前広場内の施設はシンプルなものが多く、案内サインだけが駅舎デザインと統一されている。



長野新幹線 佐久平駅
長野県佐久市
駅舎は旧中込学校をモチーフとした白壁やステンドグラス風のデザイン。山並みを表現した三角屋根
駅から続くデッキは展望の場
水を利用した修景、広場内の施設は木材利用で統一している



秋田新幹線 大曲駅
秋田県大仙市
駅舎は江戸時代の水運の利をもたらしている河川のうねりを格子で表現(平成10年グッドデザイン賞受賞)
駅舎改修のため、駅前広場は既存広場をそのまま利用している

